

平成30年度 学力向上を図るための全体計画（後期用）

～墨田区立文花中学校～

学校教育目標	学校経営方針
豊かな心をそなえ、自ら学び・考え、健康で安全な生活を営み、たくましく生きる生徒を育成する。	【自分に誇りをもてる生徒、生徒の誇れる学校】 1 学力向上→基礎・基本の徹底、授業改善、ICTの活用等 2 キャリア教育の充実→生き方を学ぶ3年間を見通した進路指導 3 特別活動の充実→学年・学級活動、自ら取り組む学校行事等 4 安全・健康教育の充実→セーフティ教室、防災安全教室等 5 体力向上→「一校一取組」、区連合体育行事等

各教科の指導の重点
1 単元の目標を踏まえた本時のめあてを明確にした授業を展開し、一単位時間内のまとめを確実にし、次時への学習意欲をつなげる取組を推進する。
2 基礎的・基本的な内容を確実に身に付けられるよう繰り返し学習を中心に実践する。
3 小テストの計画的な実施や授業改善を図ることで、「分かる」楽しさや「できる」成就感を体得させ、学習意欲の向上や学習習慣の確立を図る。
4 生徒一人一人の学習状況をきめ細かく把握するため、全国・都・区の学力調査の結果を分析しながら学力向上プランを作成し、学力の二極化傾向を抑制・解消させる。
5 家庭学習ノートを活用し、家庭と連携しながら家庭学習の習慣化を図る。
6 生徒一人一人の能力に応じた指導を推進するため、習熟度別授業(数学)、少人数授業(英語)の充実を図る。
7 多様な教育課題(がん教育、オリンピック・パラリンピック教育等)に対応する。

墨田区学習状況調査における本校の分析
1 全学年5教科59観点のうち5観点の本校平均正答率が、全国平均正答率を上回った。逆に、最大で約-28ポイントの観点がある。
2 全学年5教科14項目のうち2項目のD・E層の生徒の割合が、4割以下であった。逆に、8割を超える項目がある。
3 一週間で全く家庭学習に取り組まない生徒の割合が、第1学年及び第3学年において、全国の割合に比べ、約2倍近く多い。

31年度墨田区学習状況調査における本校の目標
1 全教科で1観点以上、本校の平均正答率が目標値を上回る。また、全観点で-10ポイント以内とする。
2 今年度D・E層の生徒の割合が6割を超えている項目を重点的に取り組み、全項目で5割以内とする。
3 家庭学習に取り組む生徒の割合を増加させる。

本校の生徒の学力向上に向けた視点			
授業の内容及び方法の工夫	教育課程外の学習の充実	校内研修の工夫	家庭や小学校等との連携
1 基礎学力コンテスト(国・数・英)や小テスト等を計画的に実施することで、「やればできる」という達成感を浸透させ、基礎学力の向上を図る。 2 「ふりかえりシート」を朝学習等で組織的に実施し、「ふりかえり」や「くりかえし」といった学び直しの機会を意図的に設ける。	1 放課後学習教室に加え、「すみだチャレンジ教室」(中期)を実施し学力下位層への対応を継続的に行う。 2 小テスト等を行う機会を短いサイクルの中で計画的に設け、テストの範囲を家庭学習と連動させるなど、家庭学習の重要性等を意識させながら取り組ませる。	1 校内外の研究授業や授業観察期間(3回)、指導教諭の模範授業等の参観をとおして、教員の資質や授業力の向上を図る。 2 「特色ある学校づくり推進校」としての研究をとおして、生徒の自己肯定感を向上させ、誇りと自信をもって行動できる生徒を育成する。	1 学校だより・学年だより等の各種通信、保護者会等を活用し、教育心理検査の結果等を踏まえながら家庭学習の大切さを伝え、各家庭からの理解と協力を得る。 2 幼保小中一貫教育における教科ごとの分科会を中心に、年間指導計画や学習のつまずきを共有し、円滑な接続を図る。